

Composed by José Maceda

Music for Five Pianos (1993)

Two Pianos and Four Winds (1996)

日時 | 2019年2月11日(月) 18:00

会場 | KAAT神奈川芸術劇場 ホール



Photo from the José Maceda Collection of the UP Center for Ethnomusicology archives

ホセ・マセダ作曲

5台のピアノのための音楽

《1993》

指揮 | ジョセフィーノ・チノ・トレド

演奏 | 高橋アキ、高橋悠治、寺嶋陸也、入川舜、佐藤祐介(以上ピアノ)
田中香織(クラリネット)、笹崎雅通(バスーン)、
有馬純晴(ホルン)、村田厚生(トロンボーン)

ホセ・マセダは、パリでアルフレッド・コルトーにピアノを学んだが、フィリピンの民族音楽に傾倒し、ゴングや竹などの楽器で作曲を行ってきた。だが、高橋アキのための依頼で、1993年に初めてピアノのために書いたのが『5台のピアノのための音楽』である。西欧音楽を象徴する楽器を用い、その特性を最大限に生かしながら、東南アジアの音楽思想とその構造を取り入れ、それまでのピアノ曲のイメージを塗り替える作品となった。今回、高橋アキのほか、生前のマセダと仕事を重ねた指揮者のジョセフィーノ・チノ・トレド、60年代からマセダと親交を結んできた高橋悠治を迎え、ヤマハ最高峰のコンサートグランドピアノ5台を集めての、滅多にみることのないピアノ曲の一夜が実現する。

《1996》

TIPAM

国際舞台芸術ミーティング
in 横浜 2019

恩田晃ディレクション

2台のピアノと4本の管楽器



ジョセフィーノ・チノ・トレド (指揮)

作曲家／指揮者、フィリピン大学作曲・楽理科教授、メトロ・マニラ・コンサート・オーケストラ、Grupo 20/21ミュージラー・ミュージック・アンサンブル、U.P. シンフォニー・オーケストラ音楽監督／指揮者。指揮者としてフィリピンとアジア諸国の作曲家の作品をフィリピン、日本、インドネシア、オーストラリア、中国などで初演。最近では新作『Agos』がニュー・ジュリアード・アンサンブルの2018シーズンのオープニング・コンサートで初演された。



高橋アキ (ピアノ)

東京芸術大学大学院修了。1970年初リサイタル。72年初渡欧し、ベルリン芸術祭、バリ秋のフェスティバル等でリサイタル。73年3枚組レコード『高橋アキの世界』で芸術祭優秀賞。75～77年「エリック・サティ連続演奏会」を秋山邦晴と開催。1980～81年、ニューヨーク州立大学バッファロー校でアーティスト・イン・レジデンス。1983～97年、横浜でコンサート「高橋アキ「新しい耳」シリーズ」をプロデュース。シューベルト、サティなどCD多数。



高橋悠治 (ピアノ)

作曲・演奏とフリーの即興／1960年草月アートセンター／1974～76年季刊誌『トランソニック』／1978～85年「水牛楽団」『水牛通信』／著書：『高橋悠治／コレクション1970年代』『音の静寂 静寂の音』（平凡社）『きっかけの音楽』『カフカノート』（みすず書房）



寺嶋陸也 (ピアノ)

東京芸術大学音楽学部作曲科卒、同大学院修了。オペラシアターこんにゃく座での演奏や2003年パリ日本文化会館における作品個展「東洋・西洋の音楽の交流」などは高く評価された。オペラや室内楽、合唱曲など作品多数。作曲のほか、ピアノ、指揮など活動は多方面にわたる。『大陸・半島・島／寺嶋陸也作品集』（ALCD-9026）など多くのCDがある。



入川舜 (ピアノ)

東京芸術大学音楽学部ピアノ科卒業、同大学院研究科修了。パリ市立地方音楽院とパリ国立高等音楽院でピアノ伴奏を学ぶ。「静岡の名手たち」オーディションに合格。神戸新聞松方ホール音楽賞、青山バロックザール賞を受賞。CD『日本のピアノ・ソナタ選』をミッテンヴァルト社より発売、文化庁芸術祭参加作品となる。2011年以後、ドビュッシーのエチュード全曲など意欲的なプログラムでリサイタルを行っている。



佐藤祐介 (ピアノ)

14歳よりピアノの本格的なレッスンを始め、15歳でリサイタルデビュー。第10回現代音楽演奏コンクール「競奏X」において優勝を果たし、第22回朝日現代音楽賞及び聴衆賞を受賞し注目を浴びる。その他、フランスをはじめ国内外での数多くの受賞歴をもつ。バロックから新作までを取り上げたシリーズ“PIANO EPOCH”を継続中。レコーディングも積極的に行っており、カメラータ・トウキョウなどのレーベルからアルバムをリリース。



田中香織 (クラリネット)

国立音楽大学、バーゼル市立音楽院音楽大学卒業。第78回日本音楽コンクール第1位、第2回ジャック・ランスロ国際クラリネットコンクール第2位、第3回トリノ国際音楽コンクール第2位などを受賞。ソリストとしてバーゼル響、バーゼル室内管、東京交響楽団、東京フィル、九州交響楽団等と共演。10年に渡るヨーロッパでの活動を経て2014年秋に帰国、現在ソロ、室内楽の分野で活動中。国立音楽大学講師、元バーゼル音楽院音楽大学講師。



笹崎雅通 (バスーン)

東京芸術大学別科修了の後フリーのファゴット奏者として活動。元藝大フィルハーモニア副首席奏者。国内外のオーケストラにエキストラや客演首席奏者としての出演を重ねるほか、ミュージカルやスタジオ収録等幅広く活動。草津国際音楽祭、アジア音楽祭 in 東京、宮崎国際音楽祭等の公演に出演。室内オーケストラARCUSメンバー。ファゴットをロルフ・チュアマン、岡崎耕治の両氏に師事。



有馬純晴 (ホルン)

1983年東京芸術大学卒業。同年東京都交響楽団に入団。86年より首席奏者となり現在に至る。89年より1年間、ロンドンに留学。96年より東京シンフォニエッタのメンバーとして数々の現代曲を初演。フランス、スペイン、オランダ、エジプト、ペネズエラの著名な音楽祭に参加。所属する東京ホルンクラブ、アレキサンダー・ホルンアンサンブルジャパンでは3枚のCDをリリース。2001年より10年間日本ホルン協会副会長を務める。



村田厚生 (トロンボーン)

桐朋学園大学音楽学部卒業。ドイツ学術交流会 (DAAD) 給費留学生としてベルリン芸術大学卒業。内外の主要な現代音楽祭に出演。『コンテンポラリー・デュオ 村田厚生 & 中村和枝』、サクバットを使用した「過去にある現在」等シリーズリサイタルで活動中。昨年はドイツ、スイス5都市でもリサイタルを行った。ソロ・アルバム『Just Sing』、自作を含む前衛作品を収録した『Slide Paranoia』をリリース中。桐朋学園芸術短期大学非常勤講師。

関連企画 | ホセ・マセダ作曲『カセット100』(1971)
振付・演出：東野祥子 & カジワラトシオ (ANTIBODIES Collective)
日時：2019年2月10日(日)18:30/19:30開演(2回公演、各回30分) | 会場：KAAT 神奈川芸術劇場 アトリウム | 入場無料



恩田晃 (キュレーター)

サウンドアーティスト／キュレーター。日本生まれ、ニューヨーク在住。30年間に渡って録り溜めたフィールド・レコーディングを用いた『カセット・メモリーズ』のプロジェクトで知られる。キュレーターとして、過去数年TPAMに関わる。また、吉増剛造、鈴木昭男、大友良英ら、多数のアーティストのパフォーマンスや展覧会を世界中で企画してきた。

◎料金

一般 ¥4,000

※TPAMに参加登録する舞台芸術関係者はプロフェッショナル・レートでご予約可能です。
※未就学児童不可

◎チケット

発売日 2019年1月12日[土]

◎お取り扱い

▷Peatix

peatix.com/group/16812

▷チケットかながわ

窓口：KAAT 神奈川芸術劇場

(10:00～18:00)

電話：0570-015-415

(10:00～18:00)

http://www.kanagawa-arts.or.jp/tc/



TPAM—国際舞台芸術ミーティング in 横浜は、アジアと世界で同時代の舞台芸術に取り組むプロフェッショナルが集まるプラットフォームです。公演プログラムのはほとんどは一般のお客様も鑑賞可能。全プログラム情報、舞台芸術関係者の参加方法についてはウェブサイトをご覧ください。www.tpam.or.jp

主催：国際舞台芸術ミーティング in 横浜 2019 実行委員会
(国際交流基金アジアセンター、公益財団法人 神奈川芸術文化財団、公益財団法人横浜市芸術文化振興財団、PARC—国際舞台芸術交流センター)

助成：公益財団法人横浜観光コンベンション・ビューロー

お問い合わせ：

国際舞台芸術ミーティング in 横浜 事務局

(PARC—国際舞台芸術交流センター)

〒150-0022 東京都渋谷区恵比寿南

3-1-2-3F

Tel 03-5724-4660 | Fax 03-5724-4661



協力：株式会社ヤマハミュージックジャパン



この企画はフィリピン大学民族音楽学研究所とのパートナーシップによって実現しました。

KAAT 神奈川芸術劇場

〒231-0023 横浜市中区山下町281

TEL.045-633-6500(代表) FAX.045-681-1691

http://www.kaat.jp/

- みなとみらい線：港谷駅から東横線直通で35分！横浜駅から6分！日本大通り駅から徒歩約5分。元町中華街駅から徒歩約8分。
- JR根岸線：関内駅または石川町駅から徒歩14分。
- 市営地下鉄：関内駅から徒歩14分。
- 市営バス：芸術劇場・NHK前すぐ。

横浜駅東口バスターミナル2番のりば乗車(所要時間約25分)

桜木町バスターミナル2番のりば乗車(所要時間約10分)

※上記のりばから発車するバスはすべて「芸術劇場・NHK前」を通ります。

ただし、148系統急行線を除く。

指定管理者：(公財)神奈川芸術文化財団

